

特集

セクシュアリティに向き合う

看護教員はセクシュアリティをどこまで

意識しているか 齋藤益子

演習・実習における学生の身体接触——

セクシュアリティをどう実感すべきか 松崎政代

臨床現場の看護師のセクシュアリティに関する認識と

現状 平田研人

性的マイノリティの存在を意識した看護教育を望む

浅沼智也

医療体制そのものに性の多様性をもたせよう！——

必要なのは意識改革より制度改革 沼崎一郎

【特別記事】

授業におけるジェンダーを考えていますか？——

ジェンダーの視点からの授業を見直すところみ 松村悠実子

【連載】

優れた“わざ”をどう伝えるか——

技術の「背後にある意味」を教える・3 阿保順子

「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応——臨地実習における

教育上の調整を考える・3 小川純子

学生なら誰でも知っている看護コトバのダイバーシティ・3

木村映里

だから私はこう書いた 系著者のフィロソフィー・7(最終回)

武井麻子

編集後記

●連載「グループワークの“達人”への道」が最終回を迎えました。皆さんは、“達人”への道を一歩踏み出せたでしょうか？まずは先生方自身がワークできるようになっていただきたいと願っています。●私は「教育学」を学んだことはないのですが、グループワーク(GW)の“作法”は大学入学直後に厳しく指導を受けました。おかげで「個人ワークの充実なくしてGWの成立なし」「相手が複数であればこそ、顔を向けて話すよう意識する」「話していない人がいることに気づけば、その人に話を振る」「話す時間ではなく、話し合う時間厳守」などの台詞は今も耳に焼き付いています。●専門は後回しにしてGWを指導してくれた先生は、その理由を「GWがきちんとできれば、専門など学生同士で学べる。教授は間違っただけ指摘すればいい」とおっしゃっていました。その通りではありませんか？

……大野

●今回は赤十字の看護教員ラダーを取り上げました。組織全体で取り組まれた、とても大きな構想で、赤十字さんならではの面もあると思いますが、それぞれの先生方の悩みはきっと同じ。お願いした体験談には、日々の実践と教員同士のかかわりがギュッとつまっていました。みなさんのご参考になればうれしいです。●ところで、きつと言われるだろうなあとと思っていることを改めて言われると、ついつい反発してしまっていますが、それでもなおのこと繰り返し言われると、認めざるを得ない危機感がせり上がってきます。やっぱり散々指摘されました。「急に出てきたお腹」について。30歳になるとはこういうことなんだなあとしみじみ加齢を感じています。……番匠

◎編集室ツイッター
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第58巻 第2号 2017年2月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、電子版／個人15,540円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.58 No.1

2017年1月
特集

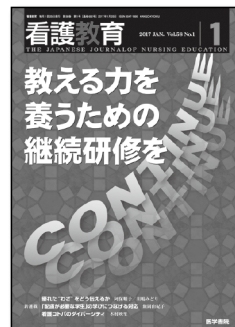
教える力を養うための継続研修を

教員は、研究も行いますが、本来は文字通り「教える」人です。ですので、すべての教員にとって、教育力UPは至上の命題と言えます。しかし、看護教員が、教育に携わる前に「正式」に教育を学ぶ機会は、専門学校教員を対象にした教員養成講習会を除けばほとんどありませんし、大学教員に至っては、他学部の教員同様、教育を学ぶ機会がないまま授業に臨まねばなりません。大学ではFDが義務づけられたものの、一般大学においてですら、その中身の多くが講演会やシンポジウムで、具体的な教育技法や授業検討への取り組みは少数派のようですから、看護教育においてもそう変わりはないでしょう。

ほとんどの看護教員は、学生を思い、上手に授業を行いたい、効果的に教育したい、と考えているはずです。であれば、個人の研鑽はもちろんですが、組織として教育を学ぶ機会を提供することこそが、いま必要なのではないでしょうか。

今回は、看護教員の教育力UPのために必要な継続教育の内容を再考し、学校単位、地域や自治体単位などで継続して教育力UPの機会を設けることによって、全体の底上げを図る方法を模索します。経験則よりもエビデンスを重視した看護が求められるようになって久しいですが、教育こそ「経験則だけで教えらる」という思い込みから脱却する必要があるはず。継続研修で教える力を養う機会を増やしていただきたいと思います。

- FDを教育力UPのための継続教育の視点でとらえる……………近藤麻理
- 看護教員養成において足りないものを補うには……………新保幸洋
- 専任教員養成講習会受講後に一教育力を高めるために必要な学校管理者の役割……………江川万千代
- 【鼎談】教育力UPのための効果的な継続教育を求めて……………杉原多可子／鳥井元純子／佐藤浩章



Vol.57 No.12

2016年12月
特集

身体知をリベラルアーツに

いわゆるリベラルアーツ、教養教育の内容は、教育機関によってまちまちです。書店でも、哲学や歴史、基礎科学、統計学など、さまざまな切り口の「リベラルアーツ」「教養」の書籍が並んでおり、またその目的も、「人生を豊かにする」「ビジネスパーソンとして生きぬく」など、さまざまです。

しかし、本を読んで多くの知識を頭に入れることが、いわゆる「教養を身につけること」なのでしょう。

現在、一部教育機関ではその見直し、つまり、「頭で学ぶ」だけでなく、「身体で学ぶ」という「身体知」もまた、何かを学び専門性を発揮するうえで、重要なのではないかと、という新しい考えが起ころっています。この動きは、座学中心の授業から、アクティブラーニングへ、という動きとも連動しています。

一方、看護基礎教育はずっと以前から、実習や演習など、「身体で学ぶ」機会に恵まれてきましたが、実習時間の減少や、医療現場の変化などで、看護師が身体知を用いて患者と向き合っていない、という警鐘も昨今鳴らされています。

身体知をリベラルアーツにとらえ直そうとしている動きは、「身体知」の低下が叫ばれる、看護教育の内容にもつながるのでは、という思いで、本特集を企画しました。日々生きた身体に取り組まれる、みなさんの刺激となれば幸いです。

- 看護教育危機の時代、なぜ今、「身体知」か……………西山悦子
- 看護職者らしさを支える知覚——ある看護学生の「身体知」が変わるとき……………菊池麻由美
- 身体知の構造——「身体で知る」ことの三段階……………大橋容一郎
- 「身体」の教養教育」改革……………鈴木守
- 新たな身体モデルに向けて……………山本敦久



【2016年11月号(Vol.57 No.11)】

使える「患者役」になろう！

【2016年8月号(Vol.57 No.8)】

論理的に書こう！

【2016年10月号(Vol.57 No.10)】

「病態関連図」を
おもしろく！

【2016年7月号(Vol.57 No.7)】

論理的に話そう！

【2016年9月号(Vol.57 No.9)】

さあ、臨床判断モデル

【2016年6月号(Vol.57 No.6)】

看護過程再再考

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2014年12月号(Vol. 55, No.12)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2015年1月号(Vol. 56, No. 1)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。